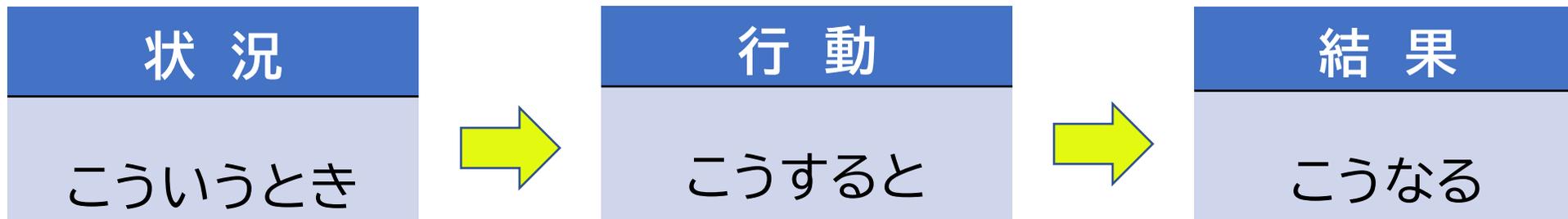




『行動』を「見える化」して考えるときのポイント



①前後の子どもの様子を**しっかり見る**
(分析)

自分(教員)の対応を**客観視**することで、改善点が見つかることも！

②同じ状況で何回か**試してみる**

分析した上で**継続**することが大切。
うまくいかない場合は検討した方が…。

③**記録をつけて客観的に見る**

記録は見直すための材料になります。

子どもたちにも、
自分(教員)自身にも、
**ポジティブ
フィードバック!**

記録は
できていること
の再確認にも！

